



## タキシャロン® TSLa 各種レーザーシールドプレート

実験や製造などで使われるような高出力レーザーは非常に危険です。人体への影響（網膜の損傷等）防止のためには、レーザー光から人体を隔離することが必須です。タキロンレーザー遮へいプレートはこれらレーザー光の人体への影響を軽減することによって、人体の安全確保にお役立て頂けます。

### 特長

1. 各レーザー光の遮へい能力は光学濃度（OD 値）5 です。
2. 衝撃強度はノッチ付シャルピ-衝撃強さ：60kJ/m<sup>2</sup>と一般の PVC 透明板（2.0kJ/m<sup>2</sup>）と比較して非常に高い
3. 欧州の RoHS 指令、REACH 規則など環境規制に対応し環境負荷物質を含有していません。
4. 食品衛生法平成 18 年厚生労働省告示 201 号に適合可能な配合剤を使用しています。

※1：光学分光光度計の測定限界が5であり、厚さ3mmの実測値は限界値5を超えています。

### 用途

1. 各波長レーザーを用いる加工装置のカバー

### 一般物性※1

項目	単位	物性値	試験方法
		TSLa	
比重	—	1.4	JIS K7112
引張降伏応力	MPa	48	JIS K7162-1B/50
引張破壊時呼び歪み	%	2200	
ノッチ付シャルピ-衝撃強さ	kJ/m <sup>2</sup>	60	JIS K7111-1epA
ピカット軟化温度	°C(B法)	70	JIS K7206(B法)
表面抵抗率	Ω/□	10 <sup>15</sup> 以上※2	JIS K 6911



写真1：YAGレーザー加工機実装例

※1 一般物性値は、板厚 3.0 mm の実測値であり、保証値ではありません。  
 ※2 制電タイプも提供可能です。制電タイプの表面抵抗率 10<sup>6~8</sup>Ω/□です。

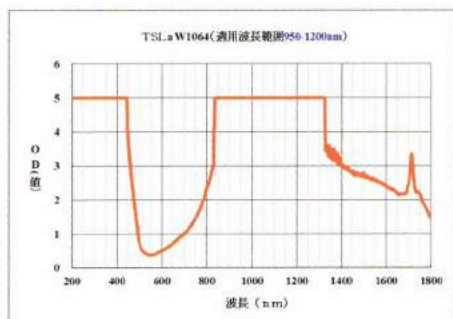
### 規格

品種・品番	色相	遮蔽波長 (nm)	光学濃度 (OD)	厚さ	
				サイズ	3.0mm
TSLa W1064	緑透明 ●	950~1200	5<	1000×1000 (特注サイズ可)	① ※4
TSLa W532	赤透明 ●	480~580	5<		
TSLa W2052	橙透明 ●	200~520	5<		
TSLa W5567	青透明 ●	550~670	5<		
TSLa W7087	緑透明 ●	700~870	5<		
TSLaND N1064※3	緑透明 ●	850~1650	5<		

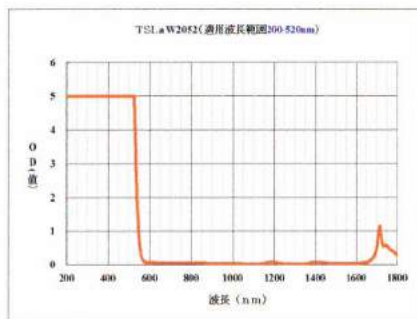
※3 TSLaND N1064 は厚さ 3.5 mm で制電タイプになります。

※4 ○印内の数字は、1ケースあたりの入り枚数です。特注サイズについてはご相談下さい。

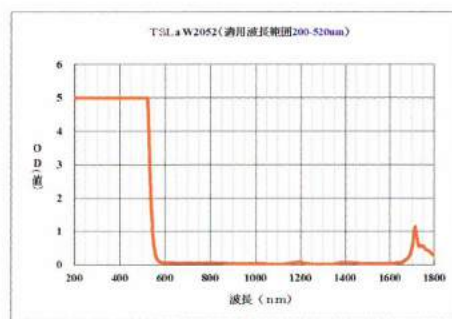
## 遮蔽性能



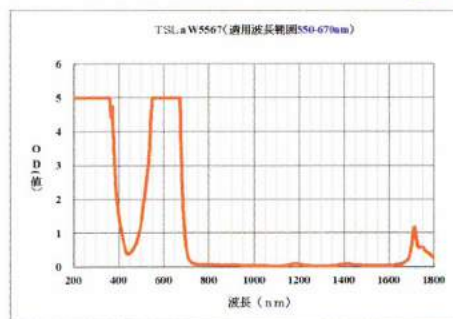
TSLa W1064 色相: 緑透明 ●



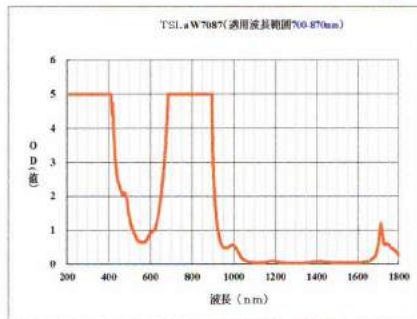
TSLa W532 色相: 赤透明 ●



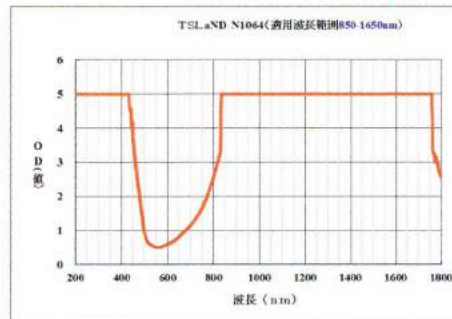
TSLa W2052 色相: 橙透明 ●



TSLa W5567 色相: 青透明 ●



TSLa W7087 色相: 緑透明 ●



TSLaND N1064 色相: 緑透明 ●

図厚さ 3 mmでの実測値です。(TSLa ND N1064 厚さ: 3.5 mm)

※分光光度計の検出限界が光学濃度(OD 値)5の為 OD 値 5 が上限値となっています。

## 使用上の注意点

1. 本製品の使用によって、眼、身体の損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。ご使用前に必ず取扱説明書をご精読頂き、適切なご使用を行ってください。
2. ご使用される温度、環境(薬品の存在)、紫外線の影響、外部応力荷等の使用条件に合せた事前評価を行い材料選定、設計等を行なってください。
3. 設計の際は、強度計算等の理論だけでなく、加工面等の要素を含めた設計を考慮してください。

## 安全上の注意点

1. 仕様にて定められたレーザ波長以外のレーザ遮へい用として使用しないでください。
2. 直接、人体に装着する「保護めがね」として使用しないでください。
3. 遮へい用プレートに高出力のレーザビームを直接照射しないでください。  
\*プラスチック材料は、高い放射照度に長時間曝されると熔融・蒸発が始まり、着火・燃焼が起きる場合があります。
4. 表面に熔融状態等、異常が確認された場合は、安全確保の為使用を中止し交換してください。
5. 適切な光学濃度を維持できない場合がありますので、曲げ加工等を行わないでください。

## 保管輸送における注意点

1. 立て置きにしますと湾曲等の変形が生じることがあります。平面に平置きし、保管・輸送してください。
2. 直射日光や高い温度域での保管・輸送を避けてください。
3. 保管状態によっては適切な光学濃度を維持できない場合があります(直射日光・高温・多湿)

## 廃棄における注意点

1. 廃棄物は産業廃棄物として法令に基づき公認の産業廃棄物処理業者様に委託の上処分してください。